



竹村石材新聞



3月に入り、少しずつ春めいてまいりましたが、いかがお過ごしでしょうか。今年の冬はコロナ禍に加え大雪に見舞われ、現場職人は工場内での仕事が多くなっていました。そんな中、社長の発案で、石の端材を使って車止めを作ってみました。本来なら捨てるような材料を有効利用できましたので、とても

環境に優しい製品です。また、コンクリート製よりも何倍も耐久性があります。石の加工は手間と時間が掛かりますので決して安いものではありませんが、今回は試作品ということで、当社度し限定ではありますが、先着1名様にプレゼントさせていただくことにいたしました。ご興味のある方は

脇田までご一報の上、弊社までお越しくださいませ。

竹村石材新聞のメール配信をご希望の方へ

メール takemura@jeans.ocn.ne.jp QRコード⇒脇田宛に「竹村新聞メール配信希望」とご送信ください。



知っていますか? 3月の記念日

●3月17日は「漫画週刊誌の日」です

1959年(昭和34年)の3月17日、日本で初めての少年漫画週刊誌が創刊されました。現在でも発行されており、多くの名作を世に出した講談社「少年マガジン」と小学館「少年サンデー」の2誌です。



「少年マガジン」の表紙は大相撲第46代横綱の朝潮太郎、「少年サンデー」は野球界のスーパースター長島茂雄でした。

■発行者：竹村石材株式会社

脇田 大 (わきだ まさる)

河北郡津幡町生まれ。妻、息子3人、妻の両親の7人大家族。かつて長男・次男が所属していた野球チームのお父さん方とお酒を飲むことがもっぱらの楽しみです。



竹村公伸



脇田 大



竹村元成

竹村石材株式会社
TEL: 076-241-0325
石川県金沢市寺町5-2-38

※仏事クイズの答え: ②

※まちがいさがしの答え: 1) 白酒の量 2) ひし餅 3) お内裏様の笏(しゃく)



～お墓・仏事の三ニ知識～



★お彼岸とは？ なぜお彼岸にお墓参りをするの？

「暑さ寒さも彼岸まで」。これは、夏の暑さは秋のお彼岸の頃に、冬の寒さも春のお彼岸の頃にやわらいで凌ぎやすくなる、という意味の言葉です。お彼岸の中日は春分の日・秋分の日にあたり、昼と夜の長さが同じ。この日は



太陽が真東から昇り真西に沈む日です。仏教では、阿弥陀様がいとされる極楽浄土は西方にあるとも言われており、この極楽浄土の世界を「彼岸」、私たちが生きている世界のことを「此岸(しがん)」と言います。春分の日・秋分の日、彼岸と此岸、つまりあの世とこの世が最も通じやすくなる日と考えられ、この時期を「お彼岸」といい、先祖供養をするようになりました。

仏事クイズ Q&A

知っているようで知らない仏事のことや言葉の意味をクイズで確かめてみましょう。

Q

「享年」とは？

- ① この世に生まれて何歳まで生きたかを表すもの。
行を積んだ年数。
- ② 天寿を全うして、亡くなるまでの年数を表したもの。
天から享けた(うけた)年月。
- ③ 亡くなったときの年齢のほか、
亡くなった暦の年数を表すもの。

ヒント

同じように使用されている言葉で、「行年」「没年」もあります。



まちがいさがし



上下の絵に間違いが3個あります。探してみましょう。

※クイズとまちがいさがしの正解は、表面の一番下の部分をご覧ください。

ご縁を大切にしたいとの想いで、毎月発行しています。